



しらかば子どもの家 新施設長就任

平成28年4月より、新施設長仲嶋久義氏が就任しました。

たより「あしたば」

施設長挨拶

新入生が光り輝く4月を迎え、子どもたちそれぞれの新しい歩みが始まりました。しらかば子どもの家でも新しい職員を迎えて開所6年目の歩みをみんなで踏み出しました。私も今年度新しく施設長に就任いたしました。責任の重さを痛感しているところでもあります。児童福祉や障害福祉の関係を児童福祉に勤務し、特に子どもたちをお願いする立場の児童相談所において約30年間勤めてまいりました。立場は変わりましたが、職員とともに子どもたちの大切な将来に向けて成長発達に力を注いでまいりたいと思っております。子どもたちを取り巻く社会情勢は安泰とは言えない厳しい面がございますが、関係者・関係機関の方々のご支援ご協力をいただきながら取り組んでまいりたい所存です。です、よろしく願いいたします。

新規職員の紹介

植田真衣 女子あかね所属



「優しくて、皆さん仲良く仕事で完璧な先輩方を見習って、一人前になれるよう、頑張りたいです。」

田村真理子 女子あかね配属



「30年ぶりの養護施設の変化にとまどっています。どうぞ、よろしく願います。」

日比野文子 子どもの家所属看護師



「昨年12月よりお世話を頂いております。いろいろな点が多いですが、ご指導よろしく願います。」

荻田知宏 男子くすのき所属



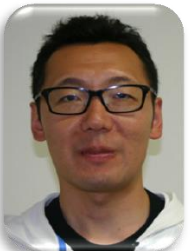
「一所懸命頑張りたいと思いますので、ご指導の方よろしく願います。」

内木雄太 男子くすのき所属



「4月よりくすのきで働いております。内木雄太です。子ども達と共に、ソーシャルワークとして成長していきたいと思っています。よろしく願います。」

堀本周吾 男子くすのき所属



「明るく元気に頑張りたいと思います。よろしく願います。」

横地由紀 男子くすのき所属



「昨年9月から入職いたしました。よろしく願います。」

第5号発行
しらかば子どもの家
広報委員会

しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム
後援会

〒239-0826
横須賀市長瀬3-3-1
しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム
59001

しらかばベビーホーム



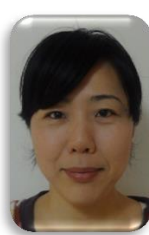
西田拓哉（保育士）

「初めて乳幼児と関わったので、日々大変なこともありましたが、他の職員の姿を見ながらたくさん学ぶことができました。また、子どもと目線に立って子ども達とたくさん関わり、一緒に成長していきたいと思っています。」



城田真弓（看護師）

「子ども達に元気をもらい、とても楽しく働かせて頂いています。これからみんなと一緒にいろいろな経験を楽しみたい。子ども達が元気に安心して過ごせるように日々の関わりを大切にしていこうと思っています。」



奥谷美穂（児童指導員）

「日々の関わりの中で子どもたちが心豊かな生活ができるように心がけ、将来のことを考えた支援ができるように頑張っていきたいと思っています。」

新規職員の紹介



野中健太郎（保育士）

「今年度からしらかばベビーホームで働かせていただくことになりました。野中健太郎です。これまでと全く違った環境で不慣れなことばかりですが、諸先輩方のご指導をしっかりと身につけ一日も早く子ども達のため適切な動きができるよう頑張っていきたいと思います。」



小田七美（保育士）

「子ども達と色々な事を学び子ども一人一人の気持ちを受け止められるように努めていきたいと思います。」



中川由実（看護師）

「子どもたちと接する機会が少ない分、少しでも子どもたちの違いに気づけるよう努力し、子ども達が笑顔で楽しく過ごせるよう、健康面をしっかりとサポートさせていただきます。」



2月3日の節分、ベビーホームではオニ退治をしました。泣き虫鬼や、怒りんぼ鬼、あわてんぼ鬼など、オトナもコドモも、心の中のオニは裏の山に飛んでいったかな？
その時来たオニが、金棒を持っていたのですが、最近のこどもたちは、バットを見るとなぜか、「おに、おに」と、ワクワクはしやがします。



節分！ 鬼がきたぞ!!



ベビーホームすくすく日記

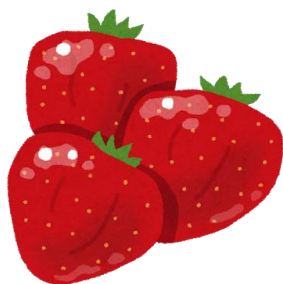


ひな祭り

3月3日は桃の節句、ひな祭り。ひな祭りの起源は、季節の節目や変わり目に災難や厄から身を守り、よりよい幕開けを願うための節句が始まりとされています。ひな祭りは女の子のために行事。女児の初節句にはひな人形を用意し、健やかな成長と幸せを願いながらお祝いをします。



いちご狩り



この時期は、美味しいイチゴの季節。ベビーホームの月齢の高い子ども達で、イチゴ狩りに行ってきました！到着すると、ビニールハウス越しにじっとイチゴを見つめる子ども達。イチゴを取っては食べて、取っては食べて！たまに、まだ熟していない緑のイチゴを取ってしまったたり、イチゴにつけるための練乳をそのまま飲んだりすることもありました（笑）。夢中で食べていても、「まだ食べるの」と言っても、帰ることを拒否する子ども達も。大好きなイチゴを沢山食べる事が出来、大満足でした♪

入学お祝い会



今年度の新入学児童は、新
高校生2名(男子1名 女子1
名) 新中学生5名(男子2名
女子3名) 新小学生4名(男子
2名 女子2名)となり、新し
い環境にチャレンジしていく
こととなります。

当日は、後援会会長をはじめ、日頃より当施設をご支援
して下さっている関係各所の
皆様にも参列して頂き、誠に
ありがとうございました。

お祝い会終了後は、子ども
達とともに、立食形式の昼食
をとり、和やかな雰囲気の中、
楽しいひと時を過ごすことが
できました。



今年の入学お祝い会は、し
らかば子どもの家が開所して
から初めての高校3年生の卒
業をお祝いする、すなわち、
子どもの家からの、お別れ会
も同時に行いました。

彼は、しらかば子どもの家
が開所した年の7月に入所し、
5年間でここを過ごしました。
高校は工業高校に進学し、就
職に必要な技術を学んできま
した。そして、4月より、晴れ
て社会人として、ここを巣立
つことになりました。

初めての卒園生

しらかば子どもの家・しらかばベビーホーム後援会会長より

後援会設立5周年を迎えるにあたって

会長 益子 健一

しらかば子どもの家・しらかばベビーホームが設立されて早
や5年が経ちました。東日本大震災直後の停電を心配しながら
の開設披露が、ついこの間のように思いだされます。

それから5カ月たった8月末、後援会は設立総会にこぎつけ
ました。当初の目的は、子どもたちの日常生活の支援とともに、
子どもたちがこの施設を巣立ったのち、自宅へ帰ってくるよう
な気持ちで立ち寄れる、くつろぎの場を確保しようということ
でした。それから10数名の役員さんと手分けし、多くの会員
(寄付をして下さる方々)さんに協賛をいただき、何とか形が
整ってきました。

その輪はさらに広がり、今では年間200を超える個人、団
体、会社等のお力添えをいただけるようになり、会費も年々増
加の一途をたどっていることは、言葉では言い尽くせない感謝
の気持ちでいっぱいです。

その後、幾度となく役員会を開き、また施設長さんたちと話
し合いを重ねていくうちに、やはり、子供たちが一人の社会人
として自立できるようになることが一番大事なことでないか、
ということになりました。

後援会としても5年目を迎えた昨年、毎年積み立ててきた「あ
したば基金」が500万円に達したこともあり、春の総会で「あ
したば基金運用規定」をご承認いただき、秋からは小学高学年生
を対象に、学習支援として6人が塾へ通うようになりました。
また進学・就職を迎える高校生には、卒園支援として資格取得
支援制度を設け、今春には、晴れて運転免許証を取得し就職し
たA君の晴れ姿を見ることができました。

このように、後援会の活動は多くの方々のご理解をいただき
ながら、牛歩のごとくではありますが、一步一步前進している
かと思えます。未だ道半ばではありますが、ここで育つ子ども
たちが自信を持って社会へ飛び立って行かれますよう、今後と
もご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、会員皆さまに重ねて御礼を申し上げ、
挨拶とさせていただきます。



祭 あしたば祭り 祭



今年も無事にあしたば祭りを開催することができました。

横須賀海軍カレー寄付



美味しいカレーの寄付をいただきました。謎の覆面スライ集団も登場!!

お餅つき



息を合わせて、ペタンペタン!



一生懸命ついたお餅は、皆で美味しくいただきました。

クリスマス

サンタクロースがやってきた!!
クリスマスのプレゼントは皆、何をもらったのかな?



しらかば歳時記 10月〜12月



あすなろ交歓会

子どもが出品した作品が、見事、横浜市長賞をいただきました！



特大ピザの寄付



横須賀米軍基地よりの
のピザの寄付。さす
がアメリカンサイズ
の特大ピザ。お腹
いっぱい食べられま
した。

後援会は、卒業・入学お祝い会で新小学生に図書カード・名入り鉛筆1ダース、新中学生に名入りシャープペンシル、新高等学校生に名入りシャープペンシル・ボールペンセット、高等学校を卒業し施設を巣立つA君には、卒業記念の実印のほかに、運転免許証の取得支援、卒園支援金を贈り、お祝いをしました。

また、行事補助として、「あしたば祭り」等で食材購入費用など、学習支援として、小学生6名の通塾費用を支援しました。

引き続き今年度も記念品の贈呈、行事補助、学習支援、資格取得支援、卒園支援などを行ってまいりますので、皆さまのご支援をお願い致します。

後援会報告

編集後記

しらかば子どもの家・しらかばベビーホームが開所し、この4月で6年目の年が始まりました。この年月のなかで、子ども達は、日々成長していきます。先月には、初めての卒園生を送り出すことが出来ました。高校卒業後は就職の道を選び、無事、社会人となった彼のこれまでの努力は素晴らしい物へ出て、つらいことや苦しい事も多いと思いますが、自身の力を信じて、頑張っていってもらいたいです。また、これから高校卒業を控える子ども、子どもの家にはいます。時間は待ってくれません。自立に向けて、前を向いて歩いて行くしかない中で、そんな子どもらに対して、最善の支援とは何かを考え、実践していけたらと思います。

広報委員

亀井・上村・相田